



No.5

「宮崎市地球温暖化対策地域協議会だより」

●始めよう できることから 地球温暖化防止●

「宮崎市地球温暖化対策地域協議会スローガン」

12月は【地球温暖化防止月間】です！

毎年12月は環境省が定める「地球温暖化防止月間」です。この月間を契機として市民や事業者の皆様に地球温暖化に関する理解を一層深めていただくとともに、地球温暖化防止のために行動を起こすきっかけとなるような様々な取り組みを実施します。

●『トラックの日』フェスタ

10月9日（日）に宮崎県トラック協会において「トラックの日チャリティフェスティバル」が行われました。本協議会用に設置されたテント内では「みやざきエコの会」のスタッフ（6名）が子ども向け「リサイクル工作」などを行いました。

また、「防災・防犯・交通・飲食」の各コーナーは雨のなか多くの来場者でぎわいましたが、参加者は自分が出したごみを実行委員会の設けた「エコストーション」できちんと分別処分していました。



「宮崎市地球温暖化対策地域協議会」テント内

●飛び出すヘビ・コロコロ貯金箱 ●ごみ分別エコストーション



●『STOP 温暖化!!』in 第56回ガス展



11月4日（金）・5日（土）・6日（日）の3日間、宮崎中央公園メインモールにおいて第56回ガス展が開催されました。

今年も宮崎ガス株式会社のご厚意により本協議会用に設置されたテント内において、地球温暖化防止の啓発活動を行いました。

3日間とも天候に恵まれ多くの来場者でにぎわいましたが、啓発用の「パネル展示」、「チラシ配布」だけでなく、参加者が「もの作り」の体験をとおし環境への意識付けができるよう、さまざまな廃材を利用した「リサイクル工作」を行いました。

また、毎年主催者側により行われる「ぜんざい」の振るまいは、環境への負担を考慮した「リユース食器」が使用され宮崎市の取り組む「5R」を推進したものとなりました。



未来のために、いま選ぼう。



「リユース食器」ぜんざいコーナー・「リサイクル工作教室」飛び出すヘビ・コロコロ貯金箱・木のバッヂ・万華鏡・牛乳パック帽子



宮崎ガス・NPO法人「みやざきエコの会」



<発行者>宮崎市地球温暖化対策地域協議会

(事務局運営) : 特定非営利活動法人「みやざきエコの会」

「移動」を「エコ」に。

smart move

「移動」を「エコ」に。smart moveでCO₂を削減。

ご存知ですか？smart move（スマートムーブ）。

日常生活の移動に伴うCO₂排出量は生活全体での約1/4。毎日の通勤・通学・買い物や旅行で、徒歩、自転車、バスや電車などの公共交通機関等CO₂排出量の少ない「かしこい移動＝smart move」を選び、広げ、続けていくことが環境をまもるための大きな力になるのです。

smart moveが推進する5つの取組



電車、バス等の
公共交通機関を
利用しよう



自転車、徒歩での
移動を見直そう



自動車の利用を
工夫しよう



長距離移動を
工夫しよう



「カーシェアリング」や
「コミュニティサイクル」など、
CO₂削減の取組に
参加しよう

((スマートムーブ 検索

私たちは、環境省が推進している smart move キャンペーンに賛同しています。



smart move が 推進する5つの取組



2. 自転車、徒歩を見直そう (自転車や徒歩での移動の推奨)



自転車や徒歩はCO₂を全く出さない移動方法、これこそ究極のsmart moveです。最寄り駅までや、渋滞の起こりやすい都市中心部、そして乗換え駅間の移動などは積極的に自転車や徒歩で。地球温暖化防止につながるのはもちろんのこと、なにより健康的ですね。

4. 長距離移動を工夫しよう (エコ旅行やエコ出張等の実施)



例えば長距離は目的地への到着時間が正確な新幹線などの公共交通機関、旅行先ではバス、電車、自転車を利用するなど、CO₂を削減できる要素がたくさん。さらに飛行機の利用や旅行時に排出されるCO₂をオフセット(埋め合せ)できるエコ旅行やエコ出張の取組も登場しています。

1.

公共交通機関を利用しよう (電車、バス等の公共交通機関の利用)

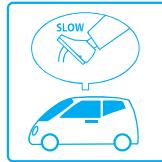


通勤や通学はもちろん、旅行やちょっとした外出なども電車やバスの利用を心がけましょう。ハイブリッドバスやLRT*などの低炭素な公共交通や、自然エネルギーを活用した最新型の車両等も登場しています。また、目的地に定刻に到着できる正確さも、日本の公共交通機関の魅力です。

*LRT:ライトレールトランジットの略。低床式車両の導入による移動のバリアフリー化など、人と環境にやさしい次世代型路面電車システム。

3.

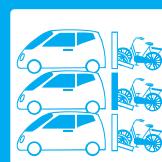
自動車の利用を工夫しよう (エコドライブの推奨、エコカーへの乗り換え)



「ふんわりアクセル」や「アイドリングストップ」等のエコドライブは燃費も良くなり経済的、燃料消費量を最大で約1/4削減できるというデータも。また、ハイブリッド車やEV車などエコカーへの乗り換えもCO₂を大幅に削減できます。

5.

地域や企業の移動・交通における CO₂削減の取組に参加しよう (カーシェアリング、コミュニティサイクル等の利用促進)



カーシェアリング

1台の自動車にかかる費用を複数の会員で分担、利用するサービス。車を所有しないため5~10分程度の「ちょい乗り」が減り、車の利用時間も大幅に減るとのデータも。

コミュニティサイクル

借りた自転車を、違う場所で返却できる公共交通システム。東京、横浜、京都などの他、観光地でも普及しています。

移動手段でこんなに違う、CO₂排出量

1人が移動する場合、
マイカーでのCO₂排出量を10とすると
鉄道は約1、バスは約3、徒歩や自転車はゼロ。
環境への負荷が小さい公共交通機関の利用など、
日常生活で移動手段を工夫することは
CO₂排出量を削減するために大きな意味があります。

